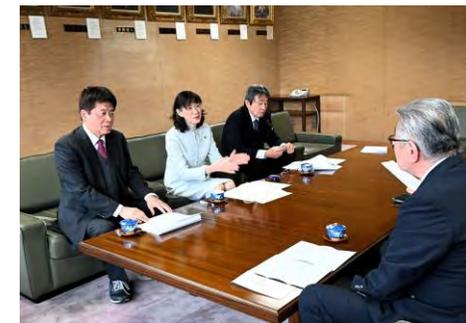


困窮する市民をよそに、政令市で唯一値上げを繰り返す熊本市 市長はじめ特別職の給料・報酬引上げは中止を！

低所得世帯はわずか3万円の給付金、市長給与は年間21万6300円の値上げ



2月7日、日本共産党は、値上げ中止を市長へ申し入れ

1月17日、「熊本市特別職報酬等審議会」は、市長給与・月額14,000円引上げをはじめ、市長・副市長・議員等特別職の報酬等を1.09～1.2%引上げ(月額8,000～14,000円)を適当と答申をしました。答申をもとに、

市長・特別職の給与引上げに、市民の理解は得られない

止まらない物価高で、食料品をはじめ生活必需品の値上げが暮らしを追いつめています。

ギリギリの生活を強いられている低所得世帯へは物価高騰対策給付金がわずか3万円です。一方、月額119万3,000円の市長給与を年間21万6,300

2025年4月1日から市長・特別職等の報酬等を引上げる条例案も議会に提出されています。

日本共産党市議団・熊本地区委員会は2月7日、市長や特別職等の報酬引上げ中止を求める申し入れを市長に行いました。

円も引き上げることに、市民の理解は得られません。

報酬等審議会答申では、熊本市の報酬等は「政令市で下位」と述べていますが、人口17位、予算規模16位、税収が最下位の熊本市の特別職給与等が高いはずがありません。

市民感覚を欠いた市長の「値上げ」の判断

2019～2024年度までの6年間に市長・特別職等の報酬等を引き上げた政令市は3市(さいたま市・新潟市・熊本市)です。

そのうち、さいたま市・新潟市は、2025年度の特別職等の報酬引き上げを見合わせる予定です。さらに引上げを実施する予

定は熊本市だけです。

物価高にあえぐ市民の暮らしの実態を考えるならば、特別職報酬等審議会が「引上げ」を答申しても、さらなる引上げは見送るのが良識ある判断ではないでしょうか。市長の判断は市民感覚が欠けています。

いせり栄次議員の一般質問ごあんない

日時:2月28日(金)

午前11時10分～12時10分(60分)

場所:市役所議会棟5階・本会議場

*どなたでも傍聴できます。

*インターネットでの同時中継は、[熊本市議会 HP](#)で

【質問項目】

- ・子ども医療費助成、学校給食無償化
- ・TSMC熊本進出と地下水保全
- ・市役所建替え
- ・市長の政治資金問題 他



日本共産党

熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1

発行:日本共産党熊本市議団

NO. 1401

2025年2月16日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP:共産党熊本市議団



検索



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

2025 年度当初予算の特徴的なものを紹介します

…共産党市議団の要望が実現しました…

繰り返し求めた無料がん検診 無料の大腸内視鏡検査

1,000 件 3,920 万円

新規事業で 55～59 歳の市民対象に、期間中 1 人 1 回無料の大腸内視鏡検査を実施します。熊本市の大腸がん検診受診率 5.2%の引上げを目指します。やり方は、医療機関への予約・検査です。翌年度は大腸がん検診キットを送付。

自転車ヘルメット購入 補助対象を拡大

15,492 人分 3,500 万円

2024 年度補正での高校生対象の助成制度を、高校 3 年生以下のすべての子どもを対象に、1 人 2,000 円の購入助成へと拡充するものです。

(申請期間) 2025 年 4 月から
2026 年 3 月末まで

延べ17日間のビジネスクラス海外視察

…フランス 6 泊 8 日、アメリカ・カナダ 7 泊 9 日…

2025 年度も延べ 17 日間、1,730 万円 (随行含む) のビジネスクラス海外視察です。

フランス行では、エクサンプロバンス市の「セザンヌ 2025」以外の予定はありません。

アメリカ行きは、招へいでない全米市長会参加や国連・カナダ大使館訪問となっています。

いずれも詳細な検討はこれからで、本当に必要なのか、内容・行程にも疑問が残ります。

【2025 年度・市長の海外視察】

(1) フランス・エクサンプロバンス市
市長・職員 4 人・通訳 1 人
総経費 740 万円

6 泊 8 日 (7 月を予定)

*目的は「セザンヌ 2025」参加
その他は、これから検討

(2) アメリカ・カナダ
市長・職員 3 人・通訳 1 人
総経費 740 万円

7 泊 9 日 (2026 年 1 月予定)

*目的は、全米市長会参加 (招待なし)、国連等・カナダ大使館訪問、
その他は、これから検討

★いずれも市長は「ビジネスクラス」

建替えありきですすむ「庁舎移転新築」

…2025 年度は、「基本計画」の策定です…

市民が実施を求めた住民投票条例案は、1 月の臨時議会で否決となり、市役所の桜町移転新築は「建替えありき」ですすんでいます。

2025 年度予算では、基本計画策定や執務環境基本方針策定、移転先予定地の不動産鑑定、庁舎周辺のまちづくりプラン検討などをすすめています。

【市庁舎移転新築の予算内訳】

- ① 基本計画策定等業務委託経費
1 億 8,169 万 2,000 円
 - ② 執務環境基本方針策定業務委託
4,999 万 4,000 円
 - ③ 用地取得関係 (移転先予定地の不動産鑑定・建物調査) 3,031 万 4,000 円
 - ④ 新庁舎整備推進経費
 - ・検討委員会 290 万円
 - ・市民交流スペース等利活用検討支援業務委託 2,500 万円
 - ・広報・市民説明会等 410 万円
 - ⑤ 「(仮称) 庁舎周辺まちづくりプラン」作成
 - ・作成支援業務委託 3,500 万円
 - ・「まちづくりプラン」検討委員会関連 1,027 万 2,000 円
 - ・シンポジウム等開催経費等 972 万 8,000 円
- 庁舎整備・まちづくり合計 3 億 4,900 万円

基本計画・基本設計・実施設計の一括請負業者決定

「基本計画・基本設計・実施設計」を一括請負業者は、プロポーザルに 5 社が応募し、契約候補者は「日建設計・太宏共同企業体」に決定しました。次点候補者は「久米・桜樹会設計共同企業体」です。

【審査結果の概要】 *1,330 点満点

- 1 位：日建・太宏共同企業体 1,164 点
- 2 位：久米・桜樹会設計共同企業体 1,132 点
- 3 位：提案者 A 社 1,128 点
- 4 位：提案者 B 社 1,068 点
- 5 位：提案者 C 社 1,045 点